

令和6年度 学校経営計画書

学校名 三次市立神杉小学校

校長名 高下 節雄

I 学校の状況

学級数	8学級	児童・生徒数	91名	教職員数	22名
メールアドレス	kamisugi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページ アドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/kamisugi/				

II 学校教育目標

豊かな人間性と確かな学力をもち 自ら伸びる子どもの育成
(やさしく かしこく たくましく)

III 使命・存在意義（ミッション）

変化の激しいグローバル社会の中、児童が夢や目標をもちそれを実現するため、自ら考え、判断し、決断し、行動できる「自律」した子どもの育成をめざす。また、「知・徳・体」のバランスのとれた児童を育成するために、授業力、自己肯定感の向上を図る。さらに、ふるさとを愛し、次代を担う自覚が育つ「地域とともにある学校」づくりを進める。

- ・ 子どもたちが夢や目標をもち、自ら伸びる学校
- ・ 子どもを主語にした学校
- ・ 家庭や地域社会の期待に応える学校
- ・ 保小中高で連携して教育に取り組む学校
- ・ 子どもたちが安全・安心に学べる教育環境を整える学校

IV 重点事項（努力点）

○ 自ら考え、判断・決断し、行動できる「自律」した子どもの育成

- ・ 話し合い活動を通して、自ら課題を解決する力、折り合う力の醸成を図る。
- ・ 自己肯定感・有用感の向上を図る。
- ・ 目標に向かって最後まであきらめない態度を育成する。

○ 主体的に学びに向い、自分の考えを高めようとする子どもの育成

- ・ 「子どもを主語にした算数科の授業～『学びの変革』のさらなる推進に向けて～」を研究主題に掲げ、算数科の授業改善をさらに進める。
- ・ 特別支援教育の視点に立ち、関係機関等と連携を図りながら、児童の実態に応じた指導を組織的に進める。

○ 「地域とともにある学校」づくり

- ・ 地域の教育力を活用した、神杉ならではの教育内容を充実させる。
- ・ 塩町中学校区小中一貫教育の充実を図り、共通取組事項である「5つの約束」「めざす資質・能力」の定着を図る。
- ・ 令和7年度からのコミュニティ・スクールの実施に向け、準備を進める。

V 中心価値・行動規範

児童、保護者、地域から信頼され、魅力ある学校

(魅力ある学校)

児童：学んでよかった

保護者：通わせてよかった

地域：一緒にやってよかった

教職員：勤めてよかった

VI 現状分析

外 部 的 要 因	<p>○（支援的要因） 【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校へ寄せる期待が高く、学校や子どもとのつながりが強い。（行事への参加、GT等） ・自治会連合会、JAひろしま、民生委員会、読み語りボランティア等、学校教育に理解があり大変協力的である。 ・学習素材（自然・歴史・文化・施設）や人材が豊富。 ・保育所と隣接し、日常的な交流ができる。 ・保小中高間の協力体制ができています。 <p>【市教委】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な人的措置がある（学校支援員・介助指導員等）。 ・働き方改革への取組が進んでいる。 ・ふるさと三才を愛する心を育むための体験活動が重視されている。 ・研修の機会が充実している。（毎月1回「みよし結芽人育成研修」の実施） ・相談しやすい。 <p>【県教委】【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の推進がされている。 ・人材育成への支援ある。（研修機会の充実） 	<p>S（強み） 【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数の変動が少ない。活動を工夫しやすい規模で、全職員で全校児童を指導できる。 ・職員は職務に対する向上心を持ち、若い力とベテランの力を出し合って責任を果たしている。 ・本校の伝統的な取組を大切にしている。（選択と集中） <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外でよく遊ぶ。 ・元気よく挨拶する子が多い。 ・異年齢の交流が多く、学年を越えて仲が良い。 ・高学年がリーダーシップを発揮している。 ・地域行事や地域体験学習、弁当の日の取組に意欲が高い。 ・運動朝会の工夫と新体力テストの結果に基づき取り組んでいる。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の繋がりが強い。 ・学校に対して大変協力的である。 ・PTA行事等、積極的に関わる人が多い。 ・前向きでマイナス発言が少ない。 	内 部 的 要 因
	<p>T（阻害的要因） 【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちとの距離が近すぎることの弊害がみられる（子どもの態度・言葉づかい等）。 ・子育てをめぐる社会の変化が激しい。 <p>【市教委・県教委・国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算が削減される。 	<p>W（弱み） 【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の継続、徹底について職員の意識に差がある。 ・子どもたちに寄り添いすぎるあまり、少々過保護気味である。 ・地域の教育力の高さに甘えている。 <p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書量が少なく、物語等情景を想像する力が弱い。 ・自己肯定感・有用感が低い。 ・指示待ちが多い。 ・健康・安全への意識が低い。 ・基本的な生活習慣の確立。（視力1.0未満の児童の増加） ・日常的なあいさつができていく。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年代の違いによる教育力の差やつながりの偏りがある。 ・メディアとの付き合い方への意識が低い。 	

支援的要因と強みを生かした活動・取組

☆表現力の育成（話すこと）

- *主体的・対話的に学ぶ児童の育成（課題発見・解決学習を軸とした授業づくり）
- *日々の授業における児童間の必然性のある対話

☆特別支援教育の充実

- *校内支援体制の充実と日常的な研修・専門機関との連携・指導の工夫

☆「地域とともにある学校」づくり

- *地域の教育力を活用した神杉ならではの教育内容の充実（生活科・特別な教科 道徳・総合的な学習の時間の工夫やG・T招聘）
- *保護者・地域と連携した弁当の日の継続（6年生おすすめレシピと学級園の野菜の活用）
- *小中一貫教育の充実とCS開始に向けた準備

☆運動朝会の充実

塩町中学校区小中一貫教育身に付けさせたい資質・能力

- 知識・技能
- 思考力 ○判断力 ○表現力
- 主体性 ○協働性

弱みを克服し、阻害的要因を回避する解決策

☆「自律」した子どもの育成

- *児童一人一人にリーダーとしての責任と場を与え、やりきらせる
- *児童会活動、縦割り班活動の充実
- *代表委員会と学級会活動をつなぐ話し合い活動の充実

☆読書活動の重視

- *朝の読書タイム等の充実
- *読書環境の整備

☆積極的生徒指導の充実

- *規範意識の育成
- *生活リズムチェックの継続
- *粘り強い保護者啓発

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
知 確かな学力	主体的な学びの創造により学力の向上を図る。	基礎・基本の学力の確実な定着、向上を図る。	<p>【学びの構えづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習規律、学習の準備を徹底させる。 <p>【学びの基盤づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数の時間や「やるゾウタイム」に繰り返し計算練習やタブレットドリル等を行い、基礎学習を徹底させる。 ・読書タイム、家庭読書を充実させ、読書量を増やす。
		自ら考え、深く学び、知識や技能を活用していく力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が児童の学びをファシリテートする力の向上を図る。 ・単元のゴールを明確化し、児童がゴールに向けて自分で考え、解決できる授業づくりを行う。 ・自主学习を中心とした家庭学習の充実を図る。
徳 豊かな心	規範意識、礼儀正しく節度ある言動、思いやりの心を身につけさせ、望ましい集団づくりを進める。	自ら考え、判断・決断し、行動する自律心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に様々な場面でリーダーを経験させ、リーダーとしての自覚と責任をもたせる。 ・児童会活動、縦割り班活動の充実。
		挨拶や言葉づかい等、場や相手に応じた態度と感謝の心を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや上級生、下級生の良いところを認め、励まし合う活動を充実させる。 ・全職員が毅然とした対応を徹底する。
体 たくましい体	体力の向上と生活習慣の改善を図る。	児童の体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の授業や委員会等の取組による意欲的な体力づくりを行う。
		健康な体をつくろうとする気持ちを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「弁当の日」の取組を工夫し継続する。 ・メディアとの付き合い方についての指導や啓発活動を充実させる。
開かれた学校	信頼と協調に支えられた地域とともにある学校づくりを推進する。	積極的な情報発信を行い、保護者満足度の向上をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・HPや各種通信などで情報を積極的に発信し、保護者と連携を深める。 ・学校の相談機能を充実する。(迅速で丁寧な組織的対応) ・業務改善を進める。
		地域とともにある学校づくりをさらに進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と主体的な連携を深める。 ・コミュニティ・スクールに向け、小中連携して組織的に準備を進める。